平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名　京成電鉄株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9009　URL　http://www.keisei.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 三枝　紀生
問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長　(氏名) 田口　正樹　TEL 03-3621-2285

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	54,992	△8.1	4,487	△34.3	2,515	△63.9	879	△74.3
23年3月期第1四半期	59,814	△1.8	6,835	0.3	6,971	24.0	3,418	20.8

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　803百万円　(△76.1%)　23年3月期第1四半期　3,359百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.60	―
23年3月期第1四半期	10.13	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	724,793	178,565	24.3
23年3月期	717,123	178,923	24.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　175,907百万円　23年3月期　176,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	2.50	―	3.00	5.50
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		2.50	―	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	111,800	△6.7	6,500	△40.5	―	―	―	―	―
通期	234,800	△1.3	16,400	△19.7	―	―	―	―	―

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

本業績予想の経常利益、当期純利益は、持分法適用会社である株式会社オリエンタルランドの業績予想の算定が困難なため開示しておりません。なお、同社の業績予想が算定され次第公表いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	344,822,371 株	23年3月期	344,822,371 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	6,296,381 株	23年3月期	6,194,441 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	338,551,723 株	23年3月期1Q	337,550,263 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……P2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……P3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……P3
２．四半期連結財務諸表 ……P4
（１）四半期連結貸借対照表 ……P4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P6
四半期連結損益計算書 ……P6
四半期連結包括利益計算書 ……P7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……P8
（４）セグメント情報等 ……P8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……P8
３．補足情報 ……P9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び原子力発電所事故の影響を受け、生産活動の低下や個人消費の低迷がみられ、さらに電力不足により先行きの不透明感が一層強まるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「ＢＭＫ（ベストマナー向上）推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、全事業営業収益は549億９千２百万円（前年同期比8.1％減）となり、全事業営業利益は44億８千７百万円（前年同期比34.3％減）となりました。経常利益は、持分法投資損失の計上により25億１千５百万円（前年同期比63.9％減）となり、四半期純利益は８億７千９百万円(前年同期比74.3％減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

＜運輸業＞

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、東日本大震災により被災した一部区間における法面沈下復旧工事を行ったほか、地震計の増設や高架橋耐震補強工事を推進いたしました。また、デジタルＡＴＳについて、設置区間の拡大工事を行いました。

電力不足対策としては、運行本数を削減したダイヤによる運行を行ったほか、駅構内・列車内照明の一部消灯やエスカレーターの一部使用停止等を行いました。

大規模工事については、押上線連続立体化工事において、墨田区内での工事を推進いたしました。

営業面では、記念乗車券の発売を開始したほか、「スカイライナー＆メトロパス」の発売を再開し、海外からのお客様の利便性向上を図りました。

バス事業では、一般乗合バス路線において、流山市内及び千葉市内で新規路線の運行を開始いたしました。高速バス路線においては、東京駅～葛西・奥戸線の運行を開始したほか、東京駅～新浦安地区線を増便いたしました。また、東日本大震災の復興を支援するため、千葉県内・東京都東部地域～仙台駅間の緊急支援バスを運行いたしました。

しかしながら、東日本大震災の影響による出控え等の影響により、営業収益は303億５千６百万円（前年同期比6.3％減）となり、営業利益は33億５千２百万円（前年同期比39.3％減）となりました。

＜流通業＞

百貨店業では、東日本大震災の影響により、フロア限定・時間短縮営業を余儀なくされたものの、各種イベントによる販売促進策を実施し、集客を図りました。

ストア業では、震災後の商品不足の中、商品確保に傾注し、収益の確保に努めたほか、コンビニエンスストアが堅調に推移いたしました。

以上の結果、営業収益は178億６千６百万円（前年同期比4.3％減）となりましたが、営業利益は４億５千２百万円（前年同期比25.4％増）となりました。

＜不動産業＞

不動産販売業では、「サングランデ印西牧の原ドアシティ」等の中高層住宅や、成田市公津の杜の住宅用地を販売いたしました。

不動産賃貸業では、「アビタシオン京成千葉中央」(有料老人ホーム)の賃貸を開始したほか、今年度中の竣工に向け、台東区浅草においてビジネスホテルの建設を推進いたしました。

以上の結果、営業収益は34億９千８百万円（前年同期比17.4％減）となりましたが、営業利益は８億６千８百万円（前年同期比0.4％増）となりました。

＜レジャー・サービス業＞

映画業では、「京成ローザ⑩」全館にて、映写機のデジタル化を実施いたしました。

旅行業では、千葉県・茨城県及び東北地方への旅行を促進し、被災地を支援する目的で、「がんばれ千葉・茨城県がんばれ東北地方 応援キャンペーン」を実施いたしました。

ホテル業では、近隣地域へのセールスを強化するなど、新規顧客の獲得に努めました。

しかしながら、東日本大震災によりホテル業・旅行業等が大きな影響を受けたため、営業収益は21億５千３百万円（前年同期比27.2％減）となり、２億２千３百万円の営業損失となりました。

＜建設業＞
建設業では、分譲マンション及びビジネスホテルの新築工事のほか、公共施設工事等を行いました。
以上の結果、営業収益は37億５千３百万円（前年同期比12.1％減）となりましたが、営業利益は１億５千４百万円（前年同期比42.9％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は7,247億９千３百万円となり、前期末と比べ76億６千９百万円(1.1％)増加しました。これは、減価償却等により有形固定資産が35億８千３百万円減少し、「投資有価証券」が持分法投資損失の計上等により17億６百万円減少しましたが、シンジケートローンによる借入等により「現金及び預金」が144億９千５百万円増加したことによるものです。
負債合計は5,462億２千７百万円となり、前期末と比べ80億２千７百万円(1.5％)増加しました。これは、「支払手形及び買掛金」が28億７千４百万円減少しましたが、借入金が62億３千７百万円、受託工事等にかかる「前受金」が64億３千９百万円増加したことによるものです。
純資産合計は1,785億６千５百万円となり、前期末と比べ３億５千８百万円(0.2％)減少しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第１四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、平成23年５月10日に発表しました数値と変更はありません。経常利益、当期純利益につきましては、持分法適用会社である株式会社オリエンタルランドの業績予想の算定が困難なため開示しておりません。なお、同社の業績予想が算定され次第、同社持分法投資損益を含んだ経常利益、当期純利益を公表いたします。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,714	37,209
受取手形及び売掛金	13,637	12,594
分譲土地建物	19,061	18,937
商品	2,250	2,213
仕掛品	774	1,430
原材料及び貯蔵品	1,684	1,707
繰延税金資産	2,880	3,126
その他	10,859	10,209
貸倒引当金	△59	△65
流動資産合計	73,803	87,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	269,664	268,183
機械装置及び運搬具（純額）	20,133	18,578
土地	139,640	139,859
リース資産（純額）	32,766	32,574
建設仮勘定	37,186	36,640
その他（純額）	1,961	1,933
有形固定資産合計	501,353	497,769
無形固定資産		
のれん	290	156
リース資産	2,494	2,429
その他	10,452	10,189
無形固定資産合計	13,238	12,775
投資その他の資産		
投資有価証券	105,956	104,249
長期貸付金	667	662
繰延税金資産	17,068	17,071
その他	5,715	5,595
貸倒引当金	△910	△910
投資その他の資産合計	128,498	126,668
固定資産合計	643,089	637,213
繰延資産	229	216
資産合計	717,123	724,793

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,203	12,328
短期借入金	89,384	86,879
1年内償還予定の社債	100	10,100
リース債務	2,572	2,648
未払法人税等	3,272	1,445
前受金	25,855	32,294
賞与引当金	2,827	1,502
役員賞与引当金	73	14
災害損失引当金	1,546	1,401
その他	24,837	27,236
流動負債合計	165,673	175,852
固定負債		
社債	91,050	81,050
長期借入金	141,529	150,271
鉄道・運輸機構長期未払金	71,351	71,351
リース債務	21,460	21,220
繰延税金負債	2,114	2,020
退職給付引当金	32,077	31,831
役員退職慰労引当金	578	511
負ののれん	1,289	1,174
その他	11,075	10,942
固定負債合計	372,526	370,375
負債合計	538,199	546,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,485	28,485
利益剰余金	112,920	112,769
自己株式	△1,969	△2,027
株主資本合計	176,240	176,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	62
繰延ヘッジ損益	△169	△187
その他の包括利益累計額合計	△42	△124
少数株主持分	2,726	2,658
純資産合計	178,923	178,565
負債純資産合計	717,123	724,793

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
営業収益	59,814	54,992
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	43,934	41,738
販売費及び一般管理費	9,043	8,766
営業費合計	52,978	50,504
営業利益	6,835	4,487
営業外収益		
受取利息	81	75
受取配当金	139	113
持分法による投資利益	1,585	－
雑収入	526	501
営業外収益合計	2,333	690
営業外費用		
支払利息	1,884	1,708
持分法による投資損失	－	714
雑支出	312	240
営業外費用合計	2,197	2,663
経常利益	6,971	2,515
特別利益		
工事負担金等受入額	625	844
その他	93	0
特別利益合計	719	845
特別損失		
固定資産圧縮損	559	787
投資有価証券評価損	746	107
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	486	－
その他	45	73
特別損失合計	1,838	968
税金等調整前四半期純利益	5,853	2,392
法人税、住民税及び事業税	2,956	1,815
法人税等調整額	△650	△308
法人税等合計	2,305	1,506
少数株主損益調整前四半期純利益	3,547	885
少数株主利益	129	5
四半期純利益	3,418	879

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,547	885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176	△49
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△32
その他の包括利益合計	△188	△81
四半期包括利益	3,359	803
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,233	798
少数株主に係る四半期包括利益	125	5

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業		(注)１	(注)２
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	32,193	18,558	2,924	2,278	3,133	726	59,814	―	59,814
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	196	108	1,309	681	1,139	377	3,812	△3,812	―
計	32,389	18,667	4,233	2,959	4,272	1,103	63,626	△3,812	59,814
セグメント利益又は損失(△)	5,524	361	864	8	107	△5	6,861	△25	6,835

(注)１　セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。
２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業		(注)１	(注)２
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	30,136	17,757	2,239	1,778	2,494	586	54,992	―	54,992
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	220	109	1,258	374	1,259	214	3,437	△3,437	―
計	30,356	17,866	3,498	2,153	3,753	801	58,430	△3,437	54,992
セグメント利益又は損失(△)	3,352	452	868	△223	154	△1	4,603	△115	4,487

(注)１　セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。
２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

３．補足情報

鉄道事業　輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

区　　分	当第１四半期累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)	前第１四半期累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日)	増減率
輸　送　人　員	千人	千人	%
定　　期	39,404	39,822	△1.0
定　期　外	25,159	26,901	△6.5
計	64,563	66,723	△3.2
旅 客 運 輸 収 入	百万円	百万円	%
定　　期	4,983	4,782	4.2
定　期　外	7,456	7,693	△3.1
計	12,439	12,475	△0.3

(注)　輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。
　　旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。